

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和08年01月26日

計画の名称	静岡市緑の基本計画推進のための公園整備計画（第3期）													
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）							重点配分対象の該当						
交付対象	静岡市													
計画の目標	緑豊かで快適な都市を形成していくことを目指し、環境保全や防災機能などの多様かつ重要な役割を併せ持っている河川緑地や公園を計画的に整備することによって、静岡市緑の基本計画の推進に寄与する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		259	A	259	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R5当初)	中間目標値	最終目標値 (R9末)
1	身近な地域にみどりが多く、心地よいまちだと思ふ市民の割合を、22.7%（令和4年度調査）から、32.6%（令和9年度調査）に増加 市民意向調査より、身近な地域にみどりが多く、心地よいまちだと思ふ市民の割合 市民意向調査（アンケート）の集計結果の「満足」、「やや満足」の割合	23%	%	33%
2	市民による公園・緑地の利用頻度の割合を54.3%（令和4年度調査）から58.2%（令和9年度調査）に増加 市民意向調査より、市民による公園・緑地の利用頻度の割合 市民意向調査（アンケート）の集計結果の「よく利用する」、「利用する」、「たまに利用する」の割合	54%	%	58%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							R05	R06	R07	R08	R09				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	静岡市	直接	静岡市	—	—	浅畑緑地整備事業	公園整備 A=52.30ha	静岡市					■	115	1.3	—	
	A12-002	公園	一般	静岡市	直接	静岡市	—	—	官民連携型賑わい拠点創 出事業 城北公園整備	公園整備 A=6.1ha	静岡市					■	■	40	—	
	A12-003	公園	一般	静岡市	直接	静岡市	—	—	官民連携型賑わい拠点創 出事業 清水船越堤公園 整備	整備計画 A=9.4ha	静岡市	■						40	—	
A12-004	公園	一般	静岡市	直接	静岡市	—	—	官民連携型賑わい拠点創 出事業 用宗緑地整備	公園整備 A=1.0ha	静岡市		■	■				60	—		
A12-005	公園	一般	静岡市	直接	静岡市	—	—	官民連携型公園計画策定 調査 用宗緑地整備	公園整備 A=1.0ha	静岡市		■					4	—		
											小計						259			
											合計						259			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05	R06			
配分額 (a)	20	6			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	20	6			
前年度からの繰越額 (d)	0	20			
支払済額 (e)	0	26			
翌年度繰越額 (f)	20	0			
うち未契約繰越額(g)	20	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	100	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	P-PFIの制度上、整備完了後に契約となるため。(基本協定締結済)				

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 静岡市緑の基本計画推進のための公園整備計画（第3期）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

